

秋から冬もハエ対策をしましょう！

～ ハエがHPAI発生の原因かも?! ～



秋から冬のハエ



「ハエ」といっても、「イエバエ」などと異なり、「**オオクロバエ**」など動物の死体や糞をエサとするハエが、**秋から冬にかけて発生**します。

冬にハエはおらん！

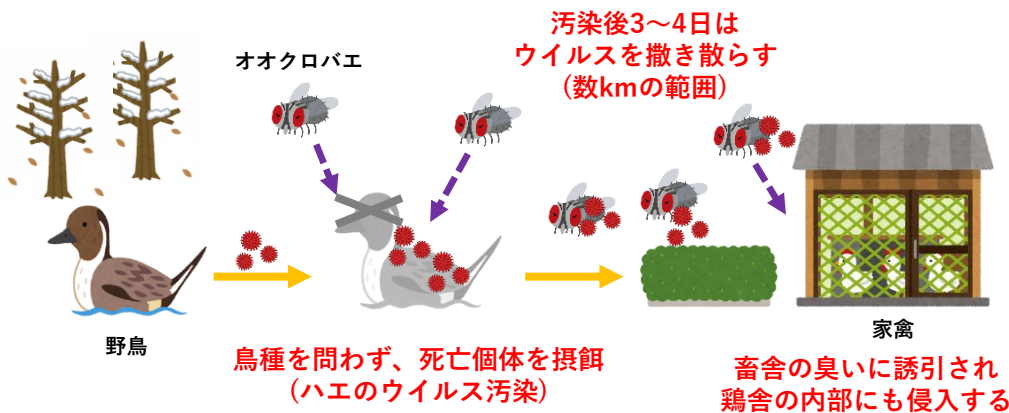


【オオクロバエの特徴】

- ・ イエバエより大きく（約1cm）、黒いハエです。
- ・ 主に秋から冬にかけて、寒くなり始めたころから発生します。

（写真） オオクロバエ

オオクロバエがHPAIを伝搬する仕組み



オオクロバエは、鶏舎の入気口、ベルトコンベアなどの隙間や、鶏舎出入口の開閉時に入ってきます。



【九州大学：「HPAI発生におけるハエ対策」より】

HPAIで死んだ野鳥などを食べたオオクロバエが、HPAIウイルスに汚染され、HPAIウイルスを持ったまま、鶏糞などの臭いに誘われて、鶏舎内などに侵入する可能性があります。

ハエ侵入防止のポイント！

殺虫剤

- ピレスロイド系で「動物用医薬品」と登録されているものが、推奨されます。
- × IGR剤は蛆対策のため、鶏舎外で発生するオオクロバエ類の成虫には効果がありません。

防虫ネット

- 網目5mm以下が望ましく、殺虫剤を鶏舎の壁（ハエが留まる場所）にも散布すると効果が上がります！

鳥インフルの時期に入っても、ハエ対策は重要じゃな！

